

巻 頭 言

聖泉大学 学長
看護学部 学部長

筒 井 裕 子



平成11年4月、聖泉大学に看護学部が開設され、滋賀県内では初の私学による看護学部が発足しました。また、地域での看護職不足からも学部開設の要望を受け発足しました。

今後、ますます医療の進歩や制度の変革など看護職の担う領域は拡大しつつあり、団塊の世代が高齢期を迎え、医療やケアのニーズも量・質ともに多くを求められています。この現状から、看護学の発展が不可欠であると強く認識するところです。

看護学は実践の科学であるといわれ、どのような健康状態にある人にも、その人らしく生活できることを支える学問です。

看護学を発展させるための研究は、人間の感性や行動を観察し、分析することから始まり、数量から理論化する研究ばかりではなく、洞察力の高い質的研究も重要視しなければなりません。

この学術雑誌の創刊に際し、学部内の検討や学術誌編集委員会の検討結果から看護学研究雑誌として発刊することになりました。内容も学術論文から、実践報告など幅広く掲載し、学外の査読者のご意見・ご指導を頂き、若い研究者の経験を蓄えるためにもより充実した研究誌を発刊していきたいと考えております。

当学部の発展にご支援賜りますようお願い申し上げます。

